

INFORMATION *Circular*

JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

■第24回運営委員会報告	1
■DGD編集についてのお知らせ	2
■DGD編集局よりのおねがい	3
■大会準備委員会よりのお知らせ	3
■お知らせ(杉山勉氏)	4
■第9回国際発生生物学会議のお知らせ	5
■日本学会議第81回総会報告	5
■事務局移転のお知らせ	6
■各種御問合せについて	6
■会員異動	7

NO.38

1981.MARCH

日本発生生物学会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学理学部動物学教室内

日本発生生物学会の諸組織は以下のとおりです

会 長：〒 606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部生物物理学教室
岡田節人（電話 075-751-2111 内線4196）

DGD編集主幹：同上

DGD編集幹事：〒 730 広島市中区東千日町1-1-89
広島大学総合科学部
天野 実（電話 0822-41-1221 内線357）

事 務 局：〒 113 文京区本郷7-3-1
東京大学理学部動物学教室
水野丈夫（幹事長）
竹内重夫（会計幹事）
八杉貞雄（庶務幹事）
（電話 03-812-2111 内線4432, 4433）

学会センター：〒113 文京区弥生2-4-16
学会センタービル内日本学会事務センター
鈴木良彦（電話 03-815-1903）

賛助会員

和 研 薬 株 式 会 社

京都市左京区北白川西伊織町25
電話 京都 (075) 721-0491 (代)

賛助会員

日 製 産 業 株 式 会 社

〒 453 名古屋市中村区名駅4丁目6-18
(名古屋ビル内)

賛助会員

三 菱 化 成 生 命 科 学 研 究 所

〒 194 東京都町田市南大谷11号

1. 第24回運営委員会報告

第24回運営委員会が2月2日三菱化成初台寮で行われました。

出席者：岡田節人（会長）、天野実、酒井彦一、塩川光一郎、鈴木義昭、平本幸男、水野丈夫（以上運営委員）、梶山正雄（会員、学術会議）、藤田哲也（第14回大会委員長）、加藤淑裕、山崎君江、田中省二（以上旧事務局）、水野丈夫、竹内重夫、八杉貞雄（以上新事務局）
議事、報告は下記の通り。

1. 55年度決算および56年度暫定予算について別表の通り承認されました。

55年度会計監査は山形達也（三菱化成生命研）、竹市雅俊（京大・理）の両氏にお願いすることになりました。

2. 第14回大会について

藤田大会委員長より、第14回大会は5月12日～14日に開催し、参加申し込み期限を2月末日としたこと、それに必要な書類等はすでに会員に発送したことが報告されました。

3. DGD編集委員について

本年はDGD編集委員交替の年にあたりますので、会則の定めるところにより運営委員の投票によって次の3氏が編集委員に選ばれました。

加藤淑裕、金谷晴夫、平本幸男

昭和55年度決算報告

(昭和55年12月31日)

収	入	支	出
前年度繰越	2,624,732	DGD印刷費	9,817,100
学会費	5,042,143	編集局経費	2,208,700
DGD売上げ	3,477,700	事務局経費	229,081
広告代	195,000	運営委員会費用	250,280
賛助会費	130,000	第13回講演要旨集	505,000
単行本	1,197,120	単行本諸経費	972,620
DGD基金	1,701,000	インフォメーション サーキュラー印刷費	180,000
文部省助成金	3,630,000	第14回大会援助費	200,000
記念論文	1,957,070	選挙のための費用	204,380
超過頁代金	370,000	学会センター（名簿代他）	252,260
名簿代金	2,000	〃（インフォDGD発送費）	679,230
銀行利息	63,159	〃（業務委託費）	569,725
印刷局立替金	67,800	〃（諸経費）	86,940
		学会長旅費	30,000
		郵便振替手数料	2,650
		銀行振込手数料	7,550
		次年度へ繰越	4,202,208
	20,457,724		20,457,724

収	入	支	出
前年度繰越	4,202,208	DGD印刷費 (vol. 22(6) vol. 23(1~5))	8,000,000
学会費	3,300,000	編集局経費	2,990,000
DGD売上げ	3,948,000	事務局経費	500,000
広告代	150,000	運営委員会費用	400,000
賛助会費	150,000	第14回講演要旨集	750,000
DGD基金	50,000	サーキュラー印刷費	200,000
文部省助成金	3,630,000	第15回大会援助金	200,000
超過頁代	600,000	学会センター(発送費)	750,000
記念論文	545,000	〃(諸経費)	93,000
利息	30,000	〃(業務委託費)	645,740
		郵便振替手数料	2,000
		銀行振込手数料	15,000
		会長旅費	30,000
		国際発生物会議派遣補助	120,000
		予備費	100,000
		DGD充実のための基金	1,809,468
	16,605,208		16,605,208

2. DGD編集についてのお知らせ

前回の“サーキュラー”でお知らせしました通り、1981年は従来通り岡田が編集主幹を勤め、1982年から九州大学、山名清隆氏が主幹を担当されます。この予定は学会委員会で承認されました。

1982年は編集委員の交代の年に当たっておりますので、会則に従い委員3名が学会委員会において選ばれ、その他については上記のような予定もありますので今回は、特に現編集主幹は次期主幹予定者と相談し、以下の先生方に1981年から3年間、編集委員をお願いすることになりました。

金谷晴夫(基生研)、加藤淑裕(三菱生命研)、菅野義信(広大・歯)、杉山勉(遺伝研)、竹内郁夫(京大・理)、平本幸男(東工大・理)、古谷雅樹(東大・理)、山名清隆(九大・理)

なお1名は現在欠員とし、来年度新主幹によって指名される予定です。

なお、近く配布しますDGD, vol. 22, No. 6にNoticeを入れてありますが、vol. 23, No. 3(6月刊行予定)以後文献引用のスタイルを変更します。従来はReferenceリストは、各論文の筆頭著者名のアルファベット順に番号を付し、それをテキスト中に引用するスタイルでありましたが、今後は番号はテキストに引用された順番とし、Referenceにそのような順で並べて頂くようになります。御協力の程お願いします。

なお、1980年度は大部のJ. C. Dan 記念号の発刊などにより、刊行が予定より多少おくれておりお詫び致します。vol. 23, No. 1はすでに印刷中であり、No. 2もすでに編集を終了し印刷を始めますので、できるだけ速やかにおくれを取りもどす予定です。

(DGD編集主幹 岡田節人記)

3. DGD編集局よりのおねがい

1. DGDの原稿作成についての注意

1981 vol. 23, No. 3 から引用文献は 文章に現れた順番に番号をつけ、その順に Reference を作ることに変更します。

2. DGDに論文を発表した方には、大学印刷株式会社から論文別刷代金と、もし8頁をオーバーした場合には、1頁につき12,000円の超過頁代金を請求いたします。大学印刷株式会社宛に送金して下さい。
(天野 実)

4. 大会準備委員会よりのお知らせ

2月末日で演題を締切りましたが特別講演1, 宿題報告4, 一般演題99と第13回大会より10%以上の増加となりました。そのため一般演説の講演要領を次のようにいたしましたので御注意下さい。

1. 一般講演はライカ版スライドプロジェクター1台を用意いたします。大版やシネを利用しようと考える方は必ずあらかじめ委員長あて御連絡をお願いします。お一人の講演時間は12分・討論5分です。時間を厳守して下さい。
2. 講演の申込をされた方には、御講演の日時をお知らせしました。万一、3月末日になってもお知らせの着かない方は委員長まで御連絡下さい。
3. 日程のあらまきは次のとおりです。

第1日(5月12日)

9:30より一般講演

15:30~17:30 宿題報告「神経系の発生」1, 2, 3

18:30~19:30 宿題報告4と総合討論

19:30~20:30 特別講演

団勝磨(敬称略)「不等分裂の機構とその意義」

第2日(5月13日)

9:15~17:15 一般講演

18:00~20:00 運営委員会

第3日(5月14日)

9:15~14:00 一般講演

14:00~15:00 総 会

15:00~17:00 自由討議

4. 自由討議は次の4つが平行して行われる予定です。

○A会場「受精に伴う細胞膜の変化」

コーディネーター 星 元紀(北大低温研)

話題提供予定者 石川 優 (愛媛大・理), 伊東鎮雄 (熊大・教養), 岸本健雄 (基生研・生殖), 北村昭夫 (東北大・理), 五島喜与太 (名大・理), 鈴木範男 (帝京大・医), 平本幸男 (東工大・理) ほか。

- B会場「位置情報理論——Wolpert の提唱した positional information の概念は形態形成を理解するための作業仮説として有効か？」

コーディネーター 大滝哲也 (金沢大・理・生), 杉山 勉 (遺伝研・生化)

司会 堀田凱樹 (東大・理・物理)

話題提供予定者 岡田益吉 (筑波大・生物), 杉山勉 (遺伝研・生化), 江口吾朗 (名大・理), 大滝哲也 (金沢大・理) ほか。

- C会場「遺伝子操作技術の発生研究への応用」

コーディネーター 塩川光一郎 (九大・理)

話題提供予定者 榎 佳之 (九大・医), 津田正明 (基生研・細胞分化), 前川秀彰 (予研・放射能), 片岡 徹 (阪大・医), 帯刀益夫 (東大・薬), 安田国雄 (京大・理) ほか。

- D会場「発生におけるクロマチンの変動——現況の総括と新しいアプローチの検索」

コーディネーター 東中川 徹 (産業医大・分子生物)。

話題提供者 未定。

お知らせは以上ですが, 多数の会員の方々の御参加をお待ち申しあげております。なお, 疑問の点, 御注文がありましたら下記へ御連絡下さい。

日本発発生物学会第14回大会本部

京都府立医科大学第2 病理

(委員長 藤田哲也)

(電 075-251-5322)

5. お知らせ (杉山勉氏)

「位置情報理論」

Wolpert の提唱した positional information theory は形態形成を理解するための作業仮説として有効か?

- (1) 来る5月12日～14日 京都における第14回日本発発生物学会年会において, 上記テーマの“自由討議”を計画しています。関心をお持ちの方の多数参加をお待ちします。なお, 話題提供希望者は簡単な要旨をそえて下記世話係迄御連絡下さい。
- (2) この分野における研究交流を更に推進するために, 本年8月頃に集中的討論集会を開催することも考慮中です。詳細は未定ですが, 関心のある方は上記大会の際に, あるいは下記世話係迄御連絡下さい。

世話係 大滝哲也 (金沢大・理・生) 〒920 金沢市丸の内1-1 (電) 0762-62-4281 内線552

杉山 勉 (遺伝研・生化) 〒411 三島市谷田1111 (電) 0559-75-0771 内線312

6. 第9回国際発生生物学会議のお知らせ

すでに前号のサーキュラーで紹介されましたが、1981年8月28日から9月1日まで、スイス・バーゼルで開催されます国際発生生物学会議につきましては、同学会に加入しておられる方々、および同会議についての連絡を要求された方々には“Preliminary Programme”が到着したはずであります。これには会議のスケジュールの他に Final Registration と講演申込みのフォームがついております。御関心のある方でまだお持ちでない方は至急に以下へ請求して下さい。なお、講演申込みは4月1日までとなっておりますので急いで Form を取寄せて下さい。

IX Congress of the International Society of Developmental Biologists

P. O. Box 141

4007 BASLE/Switzerland

なお、この機会に国際発生生物学会への御加入を希望される方は、加入書は既メンバーに送られてくる“Newsletter”に付してありますので、お近くのメンバーから入手されその書式によって学会幹事へお申込み下さい。加入書の必要な方は小生まで御連絡下さればお送りします。なお、加入書の送り先は

Dr. Melvin Spiegel

Dartmouth College,

Department of Biological Sciences

HANOVER, N. H. 03755 USA

であります。

(東大・理、岡田節人記)

7. 日本学術会議第81回総会報告

日本学術会議第12期最初の第81回総会は、1981（昭和56）年1月20、21、22日の3日間、本会議講堂で開かれた。

第1日は定刻9時30分開会。直ちに会長、副会長選挙に入り、会長に伏見康治第4部会員、人文科学部門副会長に岡倉古志郎第2部会員、自然科学部門副会長に塚田裕三第7部会員を選出した。

午後は、第12期の活動を円滑にするための予備的検討委員会の報告が行われた。その後各部会を開き、それぞれ部長、副部長、幹事を選出した。

第2日は、15時すぎまで第11期の経過報告にあてられた。伏見会長は、前期の本会議の活動について所感をのべ、総合的な科学技術振興策樹立の必要を強調した。つづいて運営審議会付置各委員会、各部、各常置委員会、各特別委員会から経過報告が行われた。各報告とも、特に80数名の新会員を念頭において、学術会議全体、各部、各委員会の性格や活動をうきぼりにする配慮の下で行われた。なお、第12期への引継ぎ事項等も報告された。その後各部会を開き第12期の活動計画等について審議した。

第3日は、まず「第12期活動計画委員会（仮称）の設置並びに各種委員会の当面の措置について（申合せ）」が提案され、運営上の問題等について意見が出されたのち、原案を可決した。

つづいて第12期活動計画に関する自由討議に移った。学術会議の活動の基本的なあり方については、総合的・学際的とりくみ、個々の科学者との連繫、長期的展望をもった継続性の必要等が強調された。さらに学術会議の組織・運営上のたてまえとしての自主・民主・公開の重要性等が指摘された。それとの関連において第12期に具体的にとりあげるべき重点課題として、人文・社会・自然科学の総合的発展の方策、都市問題、平和問題、福祉問題、学問体系の現状の洗い直し、学術情報生産・流通問題、発展途上国との学術協力問題、教育問題、学歴社会問題、国公立大学問題、婦人科学者問題、食糧問題、原子力問題、沖縄問題等々が、新会員を含む30数名から提起された。

さらに第12期活動計画をめぐる討議の一環として、第80回総会において採択された「工業技術振興の方途を早急に講ずることについて（要望）」について説明があり、これをめぐって種々の質疑、意見がかわされた。

総会終了後、各部会をひらき、第12期活動計画委員会の委員の選出などを行った。引きつづいて第1回の第12期活動計画委員会を開いた。

こうして第12期の活動が始まった。会員の出席率は、第1日 97.6%、第2日 95.7%、第3日 93.8%であった。 (日本学術会議広報委員会)

8. 事務局移転のお知らせ

昭和56年1月1日附にて、本学会事務局は下記に移転いたしました。

記

新事務局：東京都文京区本郷7-3-1（〒113）

東京大学理学部動物学教室 TEL 03-812-2111（内線4432, 4433）

事務局新役員：幹事長 水野丈夫 会計幹事 竹内重夫 庶務幹事 八杉貞雄

9. 各種御問合せについて

発生物学会の各種事務については、各地に散在している事務局（東京）、学会センター（東京）、編集局（京都）、印刷局（広島）がそれぞれ分担しております。したがって担当している業務以外の御問合せについては即答しかねる場合が多々あります。迅速な事務処理を御希望の際は下記に御留意の上然るべき場所に御問合せ下さい（住所は表紙裏をごらん下さい）。

① 入・退会、会費納入

② 出版物（DGD、サーキュラー等）の郵送、については書面にて、現会員は会員番号併記の上

日本学会事務センター 鈴木良彦

③ DGDの原稿その他については

DGD編集主幹 岡田節人

- ④ DGD別刷, オーバーページ代支払いについては

DGD編集幹事 天野 実

- ⑤ 発生生物学会大会については
⑥ 大会準備委員会

上記以外の一般的な御問合せおよびサーキュラー編集に関することは
事務局

10. 会 員 異 動

<新入会員>

中 村 和 成 島根医科大, 解

岩 尾 康 宏 北大, 理・動物

浜 口 みやこ 東工大, 理・生物

(①テーマ, ②材料)

①脳の先天異常

②ヒト, ラット, マウス

①両生類の受精機構と卵成熟の関係

②ヒキガエル

①ウニ卵, ヒトデ卵の受精, 初期発生

②ウニ, ヒトデ

<住所変更>

新

旧

相 原 宏 新座市野火止1-16-16-503

立教高校

帯 刀 益 夫 東大, 薬・微生物薬品化学

癌研・ウィルス腫瘍部

波 磨 忠 雄 名古屋市瑞穂区弥富町字紅葉町2
ナカノビルアパート206

愛知医大, 生

三 上 美 樹 宝塚市仁川北2-13-20

三重大, 医

阪急新仁川マンション517

<退会会員>

飯 野 徹 雄 東大, 理・植物

加 藤 育 雄 鎌倉市梶原982-34

佐 藤 静 治 東北大, 理・生物

鮫 島 正 純 東京都臨床医総研

賛助会員

合資会社 木下理化器製作所

〒460 名古屋市中区千代田5-22-11

賛助会員

株式会社 商新名古屋営業所

〒462 名古屋市北区憧簾町1-6 志賀コーポ101

賛助会員

ヤマト科学株式会社名古屋営業所

〒456 名古屋市熱田区波寄町48

賛助会員

株式会社 小澤製作所豊田営業所

〒471 豊田市広久町5-27-4

賛助会員

株式会社 栄屋理化岡崎営業所

〒444 岡崎市大西町字南ヶ原12-219

賛助会員

アロカ株式会社

〒181 東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号

＝ 三菱化成の ＝

なか しべ つ
中標津血清

採血より濾過精製まで一貫生産。

準胎児血清

生後24時間以内の仔牛より製造。γ-グロブリン フリー

仔牛血清

生後2週間以内の仔牛より製造。

成牛血清

生後1～1.5年の牛より製造。

- 採血より濾過精製まで一貫製造しています。
- 最終濾過は、孔径0.1 μ にて実施(成牛血清は0.2 μ)。
- 無菌採血は、世界でも当社だけです。
- 原料牛は、大規模酪農地帯である北海道根室管内で産まれた健康な牛(ホルスタイン)だけを使用しています。



三菱化成工業株式会社 生化学業部

〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2(三菱ビル) ☎03(283)6791(直通)

三菱化成工業株式会社 大阪支店薬品課

〒541 大阪市東区伏見町5-1(大阪明治生命館) ☎06(208)4562(直通)

三菱化成工業株式会社 名古屋支店化成品部門

〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(名名古屋ビル) ☎052(562)2551(直通)

SIGMA
PRICE LIST
APRIL 1977

**BIOCHEMICAL AND
ORGANIC COMPOUNDS**

for Research
and **DIAGNOSTIC
CLINICAL REAGENTS**

IT'S
EASY TO
ORDER
from
SIGMA

Telephone COLLECT
(Charges Reversed)
from Anywhere in the World
8 A.M. to 5 P.M. Monday thru Friday
8 A.M. to 12 P.M. Saturday, Sunday and Holidays

314-771-5750

TO PLACE AN ORDER
Tell your operator that you want to place a collect call "to anyone" at

Since this is our Order department, you will receive our lists a bit if you don't ask for the Order Department by any certain individual. However, it is a good idea to put the name of the person you wish to be our a possible delivery man.

TO CALL OUR CUSTOMER SERVICE DEPT. 314-771-5765
To discuss a shipping or technical problem, or for any reason, please call.

If you have any trouble getting really excellent service at the above numbers, please phone me (Dan Brandt) personally. Personal-to-Person collect.
SIGMA 200-5418

SIGMA シグマ製品がブームと お求めやすくなりました!

日本特殊薬品では、アメリカ・シグマ社と代理店
契約を結び、シグマ社最新カタログの全製品を、
下記の要領で簡単にお求めいただけます。

- シグマ社の製品一切は、ご使用者への直結販売にかぎりません。●遠隔地への送品には、荷造り・送料を実費申し受けます。少量の場合には、代金引換えにてお願いすることがあります。●汎用品はできるだけ常備していますが、品切れ、その他の場合は約1カ月のうちに取りよめます。(船便のときは約2カ月後)

お問い合わせは下記へ

《シグマ社受権代理店》

日本特殊薬品株式会社

大阪市西区京町堀1丁目8番22号(〒550) ☎06(448)2261(代表)
私書箱番号(〒530-91) 大阪中央局第755号

Call me anytime - day or night, Saturday or Holiday. I am usually not too busy!
available. If you don't reach me, please try again later.

TELETYPE - TWX-Teltek 910-761-0593
We have a TWX machine and our number is 910-761-0593.
If you have a TWX machine you may dial us directly.
If you have a Telex machine, contact your telex representative for instructions.
Don't try to dial our TWX number on a regular telephone - it won't work.
You must have a teletype machine.

To call us "collect" on either a TWX or Telex machine, contact your teletype representative for instructions.

Although we accept "collect" teletype messages, they are allowed by only a few countries. Check with your teletype representative for details. If you cannot send your messages "collect" we will be happy to reimburse the cost if you send us a copy of the message and the charges.

Our answer book ends in "SIGMA Collect". Although you can send messages to us at night, we cannot reply immediately. Our machine is unattended Monday through Friday between 1700 and 0600, and all day Saturday and Sunday.

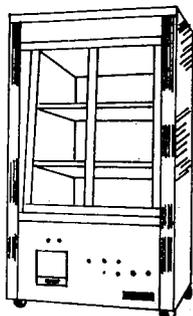
PLEASE HELP US TO HELP YOU
If at all possible, don't send us a CONFIRMATION PURCHASE ORDER at all. It serves no useful purpose after your phone order is shipped, and it might result in a duplicate shipment which is NOT returnable. We do not re-ship returned reagents.

If a purchase order MUST be sent anyway, be sure it is clearly marked
"CONFIRMATION, DO NOT DUPLICATE"

SIGMA
CHEMICAL COMPANY

NK式生物研究用機器

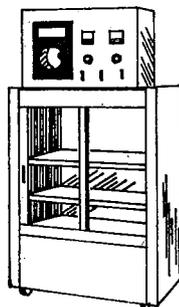
NK式電気低温恒温器 (送風循環型) 高精度普及型



型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	26万円	30.5万円	32万円

※その他のいろいろなタイプがあります。

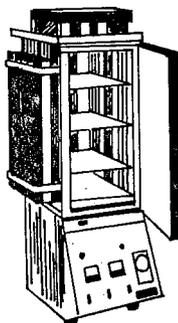
NK式プログラム電気低温恒温器 (送風循環型) 四季の温度がプログラムで自在に再現できます！



型式	LP-150 -3P	LP-200 -3P	LP-300 -3P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	49.8万円	53.5万円	60万円

NK式人工気象器

植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派！

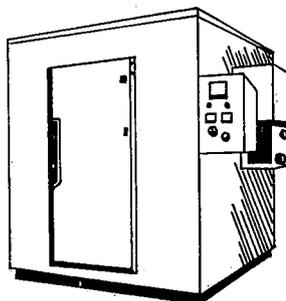


型式	LH-100 -RD型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 47万円	温・湿 度付 73万円	プログラ ム付 66万円

※その他のいろいろなタイプがあります。

NK式プレハブ電気低温恒温槽

組立、移設、増設が思いのまま！

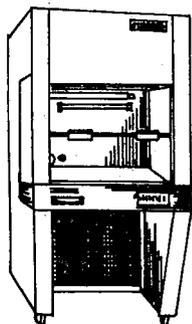


精密型

- LH型+5℃~45℃
価格1坪 1,190,000円
より各種
- LP型+18℃~45℃
価格1坪 1,290,000円
より各種

※詳細はプレハブシリー
ズカタログをご請求下
さい。

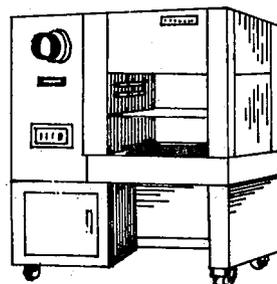
NK式クリーンベンチ (垂直層流型)



NKB-VS-850
¥780,000
NKB-VS-1300
¥880,000

NK式クリーンベンチ (垂直層流両面型)

無菌作業の能率アップに！



NKB-VW-850
¥1,200,000
NKB-VW-1300
¥1,500,000

NKS 株式会社 日本医化器械製作所

本社 千550 大阪市西区江戸堀1丁目19番24号 電話 大阪 06(443)0712(代)
東京営業所 千183 東京都府中市緑町7053-4 電話 府中 0423(65)3245(代)
工場 千583 羽曳野市駒ヶ谷5番地47号 電話 羽曳野0729(58)1919(代)